

拠出金名:アラル海救済国際基金を通じた無償資金協力

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				7,497千円	
国際機関等名	アラル海救済国際基金 (英文名称・略称) International Fund for Saving the Aral Sea (IFAS)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当課名	外務省国際協力局国別開発協力第二課、開発協力総括課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レート	ODA率(%)
平成20年度(注1)	7,497	66		1米ドル = 113円	100
平成19年度	-	-		-	-
平成18年度	-	-		-	-
当該拠出金の目的・用途等	アラル海植林のための農業機材整備				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2008年度決算)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 2,743,953,365スム	
1位	日本	7,497	100.0	当該年度の支出 2,743,953,365スム	
2位				次年度への繰越 入手困難	
3位				会計検査機関名	
4位				入手困難	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
我が国は、2006年に採択された「中央アジア+日本」の行動計画において、環境保護の分野、特にアラル海の問題に対処するための支援を実施していくことを表明しており、本件はこれに合致する。また、本団体は、アラル海とアラル海に注ぐ2河川の流域に位置している中央アジア5カ国のイニシアティブで運営されており、中央アジアを面として捉えて支援をする我が国の中央アジア外交政策の観点からも支援する異議が高い。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。					
アラル海救済国際基金ウズベキスタン事務所は、基金の合理化・機能強化を目的とした職員に対するトレーニングを実施している。					
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		17人 0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
中央アジア地域機関につき、第三国の邦人が働く意義及び目的が不明。					

(注1)アラル海植林のための農業機材整備計画約6.6万ドル

(注2)本件に関する情報は、アラル海救済国際基金ウズベキスタン事務所より入手。